

ボランティア情報

発行

社会福祉法人
福井市社会福祉協議会

〒910-0018
福井市田原1丁目13-6
フェニックス・プラザ1階

TEL (0776)22-0022/FAX 26-9109

HP <http://www.fukuic-shakyo.jp>

E-mail mag@fukuic-shakyo.jp



福井市社会福祉協議会

検索

福祉学習を通して、
自分たちにできることを考える
～宝永小学校4年生ガイドヘルプ体験～

No.270
2020年11月1日発行



▲講師の西島徹さんのお話の様子
(写真下は文字を音声で読み上げる機器)

▲子どもたちのガイドヘルプ体験の様子

当会ボランティアセンターでは、高齢者や障がい者の疑似体験や当事者のお話を通して福祉への理解を深め、自分たちに何が出来るのか考えるための福祉教育を推進しています。

10月7日(水)、宝永小学校4年生が、フェニックス・プラザで視覚障がいや、バリアフリーについて学ぶ福祉学習を行いました。

はじめに、講師として視覚に障がいのある西島徹さんをお招きし、普段の生活の様子を伺いました。西島さんは、「生活の中で不便なこともあるけれど、時計やスマートフォンにも搭載されている音声読み上げ機能を使って、時間を確認したり、電話をかけたり、読書をしたりと、日常生活を楽しんでいる」と、子どもたちに笑顔でお話ししてくれました。

ガイドヘルプ体験では、子どもたちが2人1組になり、

視覚障がい者役とガイド役を交代しながら、フェニックス・プラザから田原町駅までを往復しました。子どもたちは、音声案内やトイレの点字案内板等に実際に触れることで、身近にあるバリアフリー設備について学びました。体験のはじめ、ガイド役の子どもたちは「こっちに来て」「あっち向いて」等、抽象的な言葉でガイドをしていました。しかし、具体的な言葉で伝える方がパートナーは歩きやすいことに気が付くと、「これから右に曲がります」等、歩く方向や周囲の様子を詳しく伝えるようになり、体験を通して相手を思いやる声かけを学んでいました。

体験を終えた子どもたちからは「ガイドする人とされる人の心が繋がっていないとうまくガイドできないと思った。これから、外で困っている目の不自由な方に出会ったら、声をかけて教えてあげたい」と力強い感想が聞かれました。